

聖書 × 証の書

積集合

W・ミラーの学び方
御言葉から御言葉へ

E・G・ホワイト

+ AI(ChatGPT)

ルカによる福音書 23:43 の正しい解釈

- 誤訳
- ▶新共同訳：するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。
 - ▶口語訳：イエスは言われた、「よく言っておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。
 - ▶新改訳：イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」
 - ▶リビング・バイブル：イエスはお答えになりました。「あなたは今日、わたしといっしょにパラダイス（天国）に入ります。」

KJB: And Jesus said unto him, Verily I say unto thee, **To day** shalt thou be with me in paradise.

καὶ εἶπεν αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ἀμήν λέγω σοι σήμερον μετ' ἐμοῦ ἔσῃ ἐν τῷ παραδείσῳ

イエスは、彼に言われた。**今日** あなたにはっきり言っておく(まことに、**今日** あなたに言っておく)。
「あなたは(再臨の時)わたしと共に楽園にいる」。

→イエスは「今日、この十字架の苦しみの中で」救いの約束を与えられたのであって、実際に楽園に入るのはキリストの再臨による復活の時であり、「今日」楽園に入るのではない。

ルカ 23:43 各教派の解釈

教 派	翻訳・解釈	神学的背景・根拠	ポイント
カトリック	「今日、あなたはわたしと一緒に楽園にいる」	死後すぐに魂が審判を受け、「天国」「地獄」「煉獄」へ行くとする教理。殉教者や悔い改めた者はすぐに神のもとに迎えらる。	罪人への慰めと即時救いを強調。煉獄の理解とも調和。
プロテスタント 主流(ルター派・ 改革派・福音派 など)	「今日、あなたはわたしと一緒に楽園にいる」	死後ただちに救われた者は神の臨在に入ると信じる。ルターもこの聖句を「死の直後の救い」の根拠に用いた。	「信仰による救い」の確実性を十字架上で示す。
エホバの証人	「今日、あなたに言います。あなたは(将来)わたしと一緒にパラダイスにいるでしょう」	死後すぐに天国に行くとは考えず、「楽園」は千年王国後の地上回復を指す。従って、約束は未来に成就すると解釈。	「今日」=「約束する日」、救いの時は未来。
S D A	「今日、あなたに言う。あなたは(将来)わたしと共に楽園にいる」	「死者は眠りの状態にあり、復活まで意識がない」とする教理。ヨハネ 20:17(復活の朝にイエスが「まだ父のもとに上っていない」と言う)との調和を重視。	聖書の教えに忠実に従いギリシア語を解釈。



1833 年、ウィリアム・ミラーが説教をする許可証を受け、第一天使の「神のさばきの時がきた」というメッセージが正式に宣言され始めた（希望への光 P. 1755）。

1836 年（推定）、9 歳の時、クラスメートの投石で顔に大怪我（鼻骨が折れて、彼女は昏睡状態で 3 週間、主治医は再臨を信じる Dr. レビ・ストックマン）。そして重病を併発し、勉学を続けることができなくなり、ついに 12 才以後は学校の門をくぐったことがないという不幸な状態に陥ってしまった。若いエレンにとって、顔は醜くなり、健康は衰え、勉学の希望を捨てなくてはならぬことは、耐えられないことであったが、彼女はその苦境を、ひたすら信仰によって乗り越えて行った。

1840 年 2 月 13 日、3 月、6 月、農夫（1815 年軍隊を退役）ウィリアム・ミラー（1816 年 5 月、初めてバプテスト教会へ、バプテスト教会員ーイングランド国教会の分離派思想から発生したキリスト教プロテスタントの一教派、妻：ルーシー・ポリーナ・スミス）の再臨に関する講義（メイン州ポートランド、再臨使命、大切なのは再臨の日時ではない、主を信じることです）を聴く（12 歳）。

1840 年 3 月 20 日、W・ミラーとジョシュア・ハイムス、サインズ・オブ・ザ・タイムズ（SIGNS OF THE TIMES, The Second Coming of Christ、新聞形式）発行。

